

立教大学社会学部  
メディア社会学科



## 木村ゼミの紹介

メディア・コミュニケーション研究  
インターネット  
社会研究

木村 忠正

<http://www.ne.jp/asahi/kiitos/tdms/hp.j.html>

## 研究テーマ

- メディアコミュニケーション・CMC研究
- デジタルネイティブ研究
- ネット世論研究
- 進行中プロジェクト
  - World Internet Project (南カリフォルニア大学、オックスフォード大学等)
  - Global Consumer Intelligence (経済産業省・東大工学部)
  - 「ネット世論」調査 (Y!ニュース)
  - アプリ利用調査

## 木村ゼミで取り組む研究領域

- メディア・コミュニケーション研究
  - マスコミュニケーションではなく、SNSなどのオンライン・コミュニケーション、ネットコミュニケーション研究が中心
  - マスコミュニケーションは、ネットとの関連で取り扱う
  - CMC (computer-mediated communication) 研究
  - ビジネス・広告コミュニケーションとSNSなどのデジタルメディア
  - デジタルネイティブ研究 (1980年前後生まれ以降の情報メディア環境、CMC研究)

3

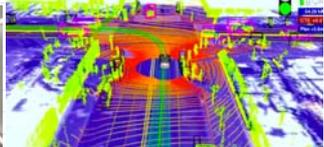
## 木村ゼミで取り組む研究領域

- ネット世論研究、ネット社会研究
  - ネット世論における政治的、社会的志向性 (新自由主義、リベラリズム、排外意識、多文化共生意識)
  - ネット社会における富・リスクの産出と分配の不均衡 (デジタルデバイド) の形成と人々の意識・価値観との関係
  - ネット社会のこれからの展開

4

## Be a Knowledge Professional !

- 木村ゼミの目標 = Be a Knowledge Professional ! (知の専門家であれ！)
- 21世紀前半の社会 = 技術革新を伴う社会の大きな変動期
- 情報ネットワーク技術分野における革新により、A.I. やドローンなどのロボットが社会に普及し、ヒトと協調・競合



5

## Be a Knowledge Professional !

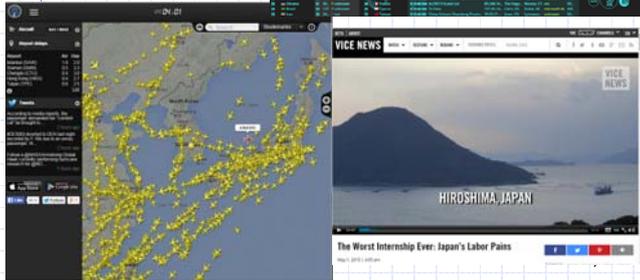
- ネットワークにすべてが埋め込まれる強いベクトル = ヒト、社会、モノなどあらゆるものが高度にネットワーク化され (IoT = Internet of Things, IoE = Internet of Everything)、産業化、資本化しようとする動きもまた強まる
- そうした社会において、ゼミ生の皆さんには、「データ」に振り回されず、データとうまく付き合い、自分にとっての「知」に変換していく力を身につけて、社会で活動できる基盤を作ってもらいたい



6

## ネットワーク化する社会

右: <http://map.norsecorp.com/>  
 下: <http://www.flightradar24.com/>  
 右下: <https://news.vice.com/video/the-worst-internship-ever-japans-labor-pains>



## モノ・環境まで進むネットワーク化

- サイバー戦争
  - <http://map.norsecorp.com/>
- リアルタイム航空機位置情報
  - <http://www.flightradar24.com/>
- Viceチャンネル(advocacy)
  - <https://news.vice.com/video/the-worst-internship-ever-japans-labor-pains>
- Drones builds a rope bridge
  - <https://www.youtube.com/watch?v=CCDIuZUFETc>
- Meet the robots making Amazon even faster
  - <https://www.youtube.com/watch?v=UtBa9yVZBJM>
- US Future Military Robots - DARPA - Boston Dynamics
  - <https://www.youtube.com/watch?v=JGNopwFc3ZA>

8

## ゼミ活動の目的

- ゼミ活動は、4つの力を涵養することを目的としています
  - 文献・資料収集・読解力
  - リサーチデザイン・データ分析・解釈・レポートिंग力
  - ディスカッション力
  - コラボレーション力
- これらの力を鍛錬しながら、最終的に優れた卒業論文完成を目指します
- 「明るく・楽しく・元気よく」「よく遊び・よく学ぶ」をゼミ生たちは実践していると思います

9

## 3年次ゼミ活動

- 文献読解・ディスカッション
  - メディア・コミュニケーション研究、インターネット社会研究に関する基礎力養成
  - 研究計画・卒論計画立案支援
- 春学期レポート作成プロジェクト
  - リサーチデザイン立案⇒実施⇒分析・解釈⇒レポート作成・プレゼン
- 社会調査実施プロジェクト
  - 春学期～合宿～秋学期準備⇒秋学期実施⇒グループプレゼン・各自レポート作成

10

## 3年次ゼミ活動

- 卒論準備プロジェクト
  - 春学期、秋学期と卒論のテーマ、内容を検討し、秋学期には卒論研究計画書と1万2千字以上(本文)の卒論の土台となるレポートを作成
- ゼミ合宿
  - 9月に例年首都圏で行います
  - 2017年度は3年・4年合同で行いました
  - 春学期レポート作成PJ、卒論準備PJ、社会調査実施PJ

11

## 4年次ゼミ活動

- 3年次ゼミ活動報告書作成
  - 春学期レポートPJ、卒論準備PJ
  - 社会調査実施PJ
    - グループプレゼン、個別分析レポート、単純集計表
  - 2015年度・2016年度報告書は、「木村研究室」紹介HPからアクセスできます
    - <http://www.ne.jp/asahi/kiitos/tdms/kimuraken/index.html>
  - 「卒業論文」(3万2千字以上)
  - 春学期は先行研究もしっかりまとめ、本文1万8千字以上のレポート作成・秋合宿までに本文2万字
  - 秋学期はラストスパート

12

## 2016年度ゼミ生の研究主題例

- Twitterからみる現代の若者像
- Twitterにおいてつくられる人格の様態
- デジタルネイティブにおけるInstagramの役割
- SNSが我々の心に与える影響力
- CMCにおける非言語コミュニケーション～顔文字・絵文字が伝えること～
- 若者(orデジタルネイティブ世代)の消費の実態
- インターネット上のクチコミが人々に与える影響
- SNSでのロコミ発信行為について

13

## 2016年度ゼミ生の研究主題例

- コミュニケーション・ツールの変遷
- 写真文化とコミュニケーション
- 政治とネット炎上について
- 日本・海外における電子政府・自治体の動向
- 日本のコミュニケーション傾向からみる無意識的ソーシャルネットワーキング
- 人工知能と人々のイメージ
- 育児とメディア

14

## 2017年度ゼミ生の研究主題例

- 現代におけるマスメディアとネットメディアの立ち位置
- オンラインと現実世界における自己表現の違い
- メディア・テクノロジー発達における自己
- 公式リツイートを通じたアイデンティティの表明
- 「孤食」と「デジタルメディア」のあり方
- ネット上のヘイトスピーチは正義感かネタか
- SNSと現代
- 若者におけるSNSの利用頻度と人間関係への満足度
- SNSは「承認欲求」を満たす最適なツールといえるのか
- Instagramが与えた影響力とSNS観光地に潜む問題点

15

## 2017年度ゼミ生の研究主題例

- 消費行動とCMCの相関関係
- SNSを通じた流行のメカニズムの分析
- SNSの普及により若者の消費行動はどう変化したか
- インターネット社会がもたらす「つながり消費」と「おひとりさま消費」
- スポーツイベントにおけるSNS利用の可能性
- 横浜DeNAベイスターズにおけるCMCを媒介としたファンエンゲージメントの増加について
- ネット利用による子供への影響の違いはどこから生まれるのか
- オンラインメディアによる子どもへの影響と今後

16

Knowledge Professional  
になろう！という人、大歓迎です

twitter (@rikkyokmrsemi)